



# 新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

※地域コンソーシアムへの  
コンサルタント派遣は九州初

畜産振興課 57,560千円  
【財源:国庫、日本一挑戦基金、一般財源】

## 事業の目的

G7宮崎農業大臣会合で採択された「宮崎アクション」等を踏まえ、粗飼料自給率100%に向けた取組を加速化し、国際情勢の影響を受けにくい持続可能な畜産経営への転換を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 粗飼料生産・利用加速化事業（補助率定額、1/3以内）
  - ・地域コンソーシアム等の機能強化のためのコンサルタント支援
  - ・粗飼料等の生産・利用拡大のための機械・施設整備支援
  - ・堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修会開催
- ② 飼料生産組織人材確保事業
  - ・飼料生産組織におけるオペレーター人材ニーズ調査
- ③ 中山間地域放牧推進事業（補助率定額、1/3以内）
  - ・放牧推進に向けた簡易造成等・普及啓発研修会開催支援

### 飼料生産に必要な施設・機械を支援



飼料保管庫の整備



飼料生産機械の導入

### 放牧推進に向けた支援



放牧地の整備



普及啓発研修会

### (2) 事業の仕組み

- ① 県、県 地域協議会等
- ② 県 県コントラクター等協議会
- ③ 県 法人、営農集団等

### (3) 成果指標

粗飼料自給率 現状（令和3年）88.0% → 令和8年 100%

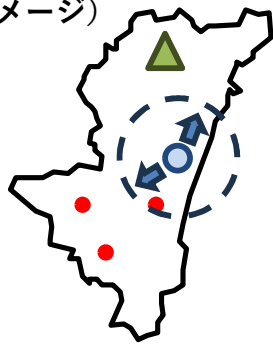
## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

# 【別紙】 新 粗飼料自給率100%「宮崎アクション」実践事業

地域毎に発足したコンソーシアム等

現状 (イメージ)



事業効果

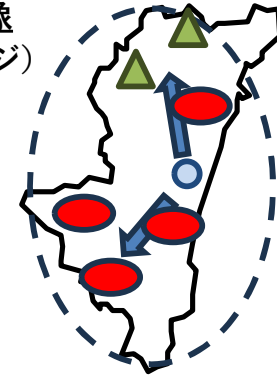
地域コンソーシアム※1の面的拡大

基幹コントラクター※2の地域を越えたエリアの拡大

中山間地域での放牧の拡大

地域を越えた飼料生産・供給体制が確立

将来像 (イメージ)



- ▲ 放牧
- 地域コンソーシアム
- 基幹コントラクター組織 (○ 受託可能範囲)

- ※1 畜産・耕種農家等を構成員とする地域資源の円滑な利用を目指す組織
- ※2 地域外も活動範囲とする受託組織

## ① 粗飼料※3生産・利用加速化事業

ア. コンサルタントによる地域コンソーシアム等の機能強化

イ. 機械・施設整備により粗飼料等の生産・利用拡大を支援



ウ. 自給率向上に資する堆肥マッチングサイト整備・普及啓発研修等

## ② 飼料生産組織人材確保事業



繁忙期における異業種からのコントラクターのオペレーター人材確保によるエリア拡大

## ③ 中山間地域放牧推進事業



中山間地域における自給飼料確保に向けた条件整備・研修会の開催

粗飼料自給率100%達成

※3 牧草、稲わら等の牛のエサ